東京スカイツリー営業再開
感染予防対策を徹底

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い3月1日から臨時休業していた東京スカイツリー（東京都墨田区）は、緊急事態宣言の解除などを受け、6月1日に3カ月ぶりに営業を再開。当面の間、営業時間を午前9時～午後9時に短縮して営業している。併せて、感染防止の対策を徹底し、来場者に協力を呼び掛けている。

来場者に協力を求める対策は、①原則、小学生以上のマスク着用②サーモグラフィ、非接触型体温計による検温③ソーシャルディスタンス（社会的距離）の確保―など。

館内には消毒液を配置し、窓口などには飛沫防止のアクリルパネルなどを設置している。密集・密接防止対策では「天望デッキ」への入場を収容人数の2割から3割程度を目安に制限。「天望シャトル」（エレベーター）の搭乗人数も制限し、定員の半数程度とする。

展望台の換気強化対策も進めている。展望台は常に地上300㍍以上の場所から清浄な外気を取り込みながら、展望台内の空気も排気することで、清浄な空気環境を保っている。

併せて、展望台内の換気を最大で通常よりも約2倍に強化。15分～20分に1回、空気を入れ替えている。

飛沫防止のアクリルパネル

福島県

県外の学校の教育旅行
バス経費の一部を補助

福島県は、県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の学校に対して、その移動にかかるバス経費の一部を補助する。昨年度に引き続き2020年度も継続し、県の教育旅行復興事業の一環として行う。補助の対象期間は2021年の3月31日まで。

福島県が推進する教育素材は①震災学習・ホープツーリズム②学校交流③歴史学習・伝統工芸体験④環境学習・自然体験⑤農村・収穫体験⑥スキー体験。

補助の対象は、県が推進する教育素材を一つ以上行程に取り入れた修学旅行、林間学校、移動教室、宿泊学習、スキー教室など、教職員の引率する学校行事の一環として行われるものや、部活動などの本来の目的である文化活動、スポーツ活動、学習などの活動。対象となるバスは、一般貸切旅客自動車運送業を登録する事業所のバスなど。宿泊施設による送迎バスなど、費用負担が発生しない場合は補助対象外。

申請に関する問い合わせ先は、福島県教育旅行復興事業事務局（福島市庄野字清水尻1の10）☎0024（563）1172。受付時間は午前8時30分～午後5時15分。

見学先1位「奈良公園」
日修協、修旅の実態調査

日本修学旅行協会が発行した教育旅行年報「データブック2019」によると、18年度に全国の中学校が実施した国内修学旅行での見学先は、「奈良公園」が最も多いという結果だった＝関連記事14面。2位が清水寺、3位が金閣寺で、このトップ3の順位は昨年と同じだった。同データブックから「宿泊地・利用宿泊施設について」「見学先について」の部分を紹介する。

◆宿泊地・利用宿泊施設について

表1をみると第1位から9位までの大きな変動は見られなかった。長野が前回の13位から今回10位に上がった。

次に構成比率を見てみると、1位の京都府は前回33・3％で今回は37・2％と少し上がり、2位の東京都は前回12・8％で今回は11・4％と下がっている。

利用宿泊施設＝表2＝で前回と今回の構成比率を比較すると、「ホテル（洋室中心）」は前回55・9％が今回57・1％で1・2ポイント上がり、「日本旅館（和室中心）」は前回33・7％が今回34・4％と0・7ポイント上がった。

「農山漁村民泊」は、前々回の4・9％、前回は5・6％、今回5・0％となっている。

往路または、復路で船中泊したのは0・8％（16件）だった。今回調査では、船中泊は全て公立であった。

◆見学先について

○○市内などは集計せず、施設名が書かれている見学先のみを集計した＝表3。

奈良公園が1位、清水寺が2位、金閣寺が3位、法隆寺（5位→4位）、USJ（11位→6位）、伏見稲荷（13位→8位）、薬師寺（12位→10位）、銀閣寺（13位→11位）、平等院（16位→14位）、興福寺（19位→17位）と順位を上げ、東京ディズニーリゾート（4位→5位）、国会議事堂（6位→7位）、二条城（8位→12位）、東京スカイツリー（7位→13位）、浅草（10位→15位）、三十三間堂（15位→16位）、沖縄祈念公園（17位→19位）と順位を下げた。

また200件を超えているのは奈良公園、清水寺、金閣寺であり、150件を超えているのは法隆寺、東京ディズニーリゾート、USJである。

以上のように全国的に著名な寺社・文化財、娯楽施設などが見学先の中心となっている。今回の順位は多少の変動があったものの、ほぼ昨年と同様の結果であった。

地域別見学先上位5＝表4＝をみると、特徴的なのは中国では広島平和記念公園（原爆資料館などを含む）、九州では長崎平和公園（原爆資料館などを含む）、沖縄では沖縄平和祈念公園（平和の礎などを含む）が1位で平和学習が積極的に進められていることがうかがえる。

北海道は札幌・函館が新しく入り、東北の中尊寺は昨年と同じで今回も1位であった。中部、四国の見学先は件数が1桁であるため、毎年順位が変動すると予想される。関東の1位は東京ディズニーリゾート、3位は東京スカイツリーの娯楽施設であり、近畿の1位は奈良公園（東大寺を含む）、2位は清水寺の寺社・文化財と地域によって見学先の特徴が表れている。

表1　宿泊地上位10（都道府県別）（単位：件・％）

順位 前々回	前回	今回	宿泊地	宿泊延べ数	構成比
1	1	1	京都	730	37.2
2	2	2	東京	223	11.4
3	3	3	沖縄	200	10.2
4	4	4	千葉	170	8.7
5	6	5	大阪	103	5.2
6	5	6	長崎	87	4.4
7	5	7	北海道	71	3.6
8	8	8	奈良	67	3.4
10	9	9	広島	47	2.4
13	13	10	長野	33	1.7
			その他	217	11.1

※船中・車中泊除く

表2　利用宿泊施設（単位：件・％）

宿泊施設＼設置者	国立	公立	私立	全体	構成比	前回比
ホテル（洋室中心）	22	945	154	1,121	57.1	1.2
日本旅館（和室中心）	13	535	127	675	34.4	0.7
民泊（農山漁村）	2	84	13	99	5.0	▲0.6
民宿・ペンション	0	35	0	35	1.8	▲0.2
車中泊・船中泊	0	16	0	16	0.8	▲0.5
自治体所有・公共施設	2	7	1	10	0.5	0.2
国民宿舎・休暇村	0	3	0	3	0.2	▲0.5
少年・青年（自然）の家	0	0	0	0	0.0	▲0.1
その他（宿坊・研修施設）	0	3	2	5	0.3	▲0.1
合計	39	1,628	297	1,964	100.0	

表3　見学先上位20

順位 前々回	前回	今回	見学先	件数
1	1	1	奈良公園（東大寺を含む）	367
2	2	2	清水寺	246
3	3	3	金閣寺	229
4	5	4	法隆寺	197
5	4	5	東京ディズニーリゾート	188
10	11	6	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	151
6	6	7	国会講事堂	146
15	13	8	伏見稲荷	136
9	9	9	北野天満宮	130
14	12	10	薬師寺	125
8	13	11	銀閣寺	124
7	8	12	二条城	119
12	7	13	東京スカイツリー	113
16	16	14	平等院	103
13	10	15	浅草（浅草寺を含む）	100
11	15	16	三十三間堂	94
18	19	17	興福寺	87
－	17	19	沖縄平和祈念公園（祈念堂・資料館・平和の礎）	72
－	－	19	龍安寺	72
－	－	20	ひめゆりの塔・資料館	66

※総回答件数は 5,021件
※京都市内、東京都内、小樽市内など具体的な見学先でないものはランク外とした。

表4　地域別見学先上位5

地域	順位	見学先	件数
北海道	1（－）	函館市内	12
	1（－）	札幌市内	12
	3（1）	函館山	7
	4（－）	ルスツリゾート	5
	5（－）	ニセコ町	4
東北	1（1）	中尊寺	17
	4（2）	小坂康楽館	4
	4（－）	松島	4
	4（－）	鹿角あんとらあ	4
	5（5）	ねぶたの家ワ・ラッセ	3
関東	1（1）	東京ディズニーリゾート	188
	2（2）	国会議事堂	146
	3（3）	東京スカイツリー	113
	4（4）	浅草	100
	5（5）	劇団四季	62
中部	1（2）	白馬村	8
	2（－）	上高地	6
	3（－）	高山市内	5
	5（－）	兼六園	4
	5（－）	立山黒部アルペンルート	4
近畿	1（1）	奈良公園（東大寺を含む）	367
	2（2）	清水寺	246
	3（3）	金閣寺	229
	4（4）	法隆寺	197
	5（－）	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	151
中国	1（1）	広島平和記念公園（原爆資料館などを含む）	62
	2（2）	宮島・厳島神社	23
	3（－）	倉敷美観地区	6
	5（－）	秋芳洞	4
	5（－）	松陰神社	4
四国	1（1）	金刀比羅宮	3
	1（3）	大塚美術館	3
	5（－）	松山城	1
	5（－）	桂浜	1
	5（－）	吉野川	1
九州	1（1）	長崎平和公園（原爆資料館などを含む）	50
	2（2）	大宰府天満宮	27
	3（－）	ハウステンボス	17
	4（3）	グラバー園	14
	5（5）	知覧特攻平和会館	13
沖縄	1（1）	沖縄平和祈念公園（平和の礎などを含む）	72
	2（2）	ひめゆりの塔・資料館	66
	3（5）	壕（糸数壕・轟壕・チビチリガマ）	59
	4（4）	国際通り	58
	5（－）	首里城	58

※（ ）内は前回順位
※総回答件数は 5,021 件

京都　東映太秦映画村

体験学習プログラムが豊富
「見る・学ぶ・作る・参加する」テーマに

時代衣装体験

東映太秦映画村（京都市右京区）ではウイルス感染防止対策として、来村者がより安心して楽しめるように抗ウイルス、抗菌に効果の高い溶液で施設全体をコーティング。来村者や従業員もウイルスから守る取り組みを行っている。散布エリアは映画村全域約2万平方㍍をはじめ、イベントや体験学習などで着用する着物約1300点にまで及ぶ。さらに感染予防対策として来村者へマスクの着用、入村時の検温、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保などの協力をアナウンスしている。

映画村には、修学旅行生に向けた体験学習プログラムが豊富。「見る・学ぶ・作る・参加する」をテーマに、京扇子、京うちわの手書き体験や清水焼絵付け体験などがある。

班別研修用には、少人数用のメニューとして、映画村ならではの「変身体験」がある。メイク、かつらを省いて着物の着付けのみの「時代衣装体験」のお手軽プランは、短時間で変身し映画村の江戸の町を散策できる。さらに今秋からスタートする「映画を学ぼう」では、日本映画のふるさと「太秦」で映画の歴史を学習できる。学生に分かりやすいように漫画イラストを使用した小冊子をベースに、映画研究に勉め卒業した京都大学の大学院生が講義を行う。専門的な意見や質問などにも対応可能。

村内も毎年リニューアルしアトラクションが次々と登場している。最近では、今大人気の謎解きゲームと巨大迷路が合体したアトラクション「謎解き迷路まぼろし砦」や、今秋10月3日には「エヴァンゲリオン京都基地」がグランドオープン。L.C.L.のプールから上半身をのぞかせた高さ15㍍のエヴァンゲリオン初号機が登場。この初号機の「エントリープラグ」と呼ばれるコックピットや手の平に乗ることができるアトラクションは世界初となる。多数のフォトスポットもあり、世界でここでしか撮れない写真が撮影できる。

さらに、年間を通して数々の人気ゲーム・アニメーションとコラボレーションした期間限定の特別イベントも開催している。

パンフレットの郵送、申し込みなど体験学習に関する問い合わせは東映太秦映画村☎075（864）7716まで。

エヴァンゲリオン京都基地©カラー

抗菌施工を実施

映画を学ぼう
日本映画のふるさと“太秦”で学ぶ映画の歴史

映画文化館見学　日本映画を作り上げてきた先人たちの遺品や偉業などが展示されており、日本映画の歴史を目の前で学べます。

講義　京都大学大学院で映画研究を修めたスタッフが登壇し、講義を行います。

小冊子　映画研究を専門とする京都大学教授の監修がなされた文章に、集英社主催の「手塚賞」入選漫画家によるイラスト付き冊子を講義で使用後プレゼントいたします。

TOEI KYOTO STUDIO PARK
東映太秦映画村
https://www.toei-eigamura.com
〒616-8586　京都市右京区太秦東蜂岡町 10 番地

ナビダイヤル☎0570-064349
お問い合わせ☎075-864-7716
営業時間／　9:00～17:00（3 月～11 月）
　　9:30～17:00（12 月～2 月）
休村日／　毎年 1 月中旬

Tourism & Community development
観光とまちづくり

日本観光振興協会発行の季刊「観光とまちづくり」は、全国の観光事業者、観光行政担当者、観光研究者をはじめ、広く多くの一般読者にも愛されている観光全般に関する唯一の総合誌です。

観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、関心の高い課題を特集として取り上げ、その分野の専門家や実務家とともに解決の方向を探っていきます。

＜最近の特集内容＞
No.533 地域づくりとスポーツツーリズム
No.534 デジタルマーケティングが観光を変える
No.535 これからの地域ブランディング
No.536 観光地の危機管理

＜購読料＞
年間 5,200 円（税込）　A4 版 56 頁　年 4 回発行
※消費税率引上げに伴い金額は変動します。

公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3－1－1　虎の門三丁目ビルディング6階
TEL.03-6435-8332 FAX.03-6435-6921　http://www.nihon-kankou.or.jp/home/
全国の観光情報は「観るなび」　http://www.nihon-kankou.or.jp

新築・リニューアルオープンは告知宣伝のチャンスです！

週刊観光経済新聞は
大手・中小旅行会社・ＯＴＡ
などで広く購読されています
新築・リニューアルの PR にご活用ください！
広告の他、記事執筆（取材）で告知のお手伝いをさせていただきます

お問い合わせ・プレスリーリースのご送付は・・・
株式会社 観光経済新聞社　TEL 03-3827-9800　E-mail info@kankokeizai.com